

# 特集 綾瀬の教育

## 子どもたちの「生きる力」

### 育むのは学校・家庭・地域

市教育委員会

確かな学力、豊かな心、健やかな体。次代を担う子どもたちが、変化の激しいこれからの社会を生きるために、知・徳・体をバランスよく育てることが大切です。その生きる力としての確かな学力を育むことが、本市の児童・生徒の課題となっています。市教育委員会の学力向上への取り組みや、テスト・調査から見る子どもたちの実態など、綾瀬の教育の「今」を紹介いたします。また、子どもが育つ上での基盤となる家庭は、教育の原点といわれています。そうした家庭の在り方など、改めて考えてみましょう。

#### 生きる力と確かな学力

グローバル化や少子高齢化、技術革新などにより、私たちの生活や働き方が変わり、人と人との関わりも少なくなるなど、さまざま課題が出ています。こうした変化の激しい時代を、自立して生き抜いていくために必要な力を、学習指導要領では「生きる力」と呼んでいます。

生きる力とは、①さまざまな問題に対し解決する力②確かな学力、③自律と協調、思いやる心④豊かな人間性、⑤たくましく生きるための健康や体力の三つです。

この三つの中で、本市の児童・生徒にとって、確かな学力が課題となっています。



各学校では、学習指導要領を踏まえて学力向上に取り組んでいます。

## 確かな学力向上に向けて

学校と教育委員会は、連携・協力して次の取り組みを進めます。

- 分かる授業の推進**  
学校での授業は、その時間で行う学習の目標の提示から始まり、振り返りで終わる流れや、学び合いの取り入れなど、基本的なスタイルの共通化を図り、より分かる授業を推進します。
- 授業時数の確保**  
分かる授業のためにも、学校での学習時間を確保する必要があることから、授業時間を増やします。
- 補習指導の実施**  
今年度から小学校で始まった学力向上推進支援者による放課後や長期休業中の補習指導を継続していきます。
- 家庭学習の習慣化**  
今までのような宿題のほかに、児童・生徒が自主的に課題を設定して行った家庭での学習ノートを先生が評価するなど、家庭学習の充実を図ります。
- つまずき対策**  
学習上のつまずきの防止と克服のため、指導の工夫とつまずきのチェック対策を進めます。
- あやせ学びづくり運動**  
家庭と連携して、規則正しい生活と家庭学習の習慣化に取り組みます。「家庭学習の手引き」を作成し、児童・生徒に配布するとともに、市ホームページにも掲載しているのので、活用してください。
- 土曜まなび場事業**  
家庭学習の習慣化を図るため、小学生を対象に「土曜まなび場事業」を実施しています。来年度の募集内容などは、2月末に各小学校で配布します。



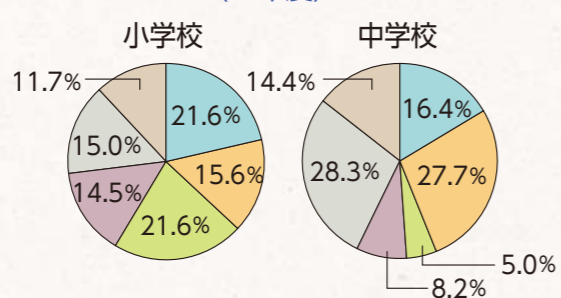
**自ら学ぶ子に**  
— 家庭学習の手引き(小学生版) —

保護者のみなさまへ

市教育委員会

▲家庭学習の手引き(小学生版)  
次の手順で市ホームページから見ることができます。  
トップページ→市民向け→教育→教育指導→あやせ学びづくり運動

### ゼロの日運動を実施した感想(25年度)



- 家族との会話がふえた
  - 本を読む時間がふえた
  - 兄弟と遊ぶ時間がふえた
  - 家のお手伝いをする時間がふえた
  - その他
- ※ 無回答・無効は除く



子どもたちの健康的な生活習慣を定着させ、豊かな心を育むとともに、確かな学力の向上のために「あやせゼロの日運動」と連携して展開しています。

この運動は、10日・20日・30日といった毎月ゼロのつく日にテレビやゲームを一休みし、親子で一緒に読書をしたり、家族で団らんしたりするなど、家族の時間を充実させる取り組みです。

昨年度のアンケート結果からは「家族の会話が増えた」「本を読むことが増えた」「家の手伝いが増えた」「勉強する時間が増えた」など、有意義な時間を持つことができたという意見が多数ありました。

この運動をきっかけに、生活習慣を見直してみませんか。

◎生涯学習課 ☎70・5658

### あやせゼロの日運動

### 家庭教育は育ちの原点



市家庭教育アドバイザー 増田 岩男

家庭教育はお子様を育つための基盤であり、全ての教育の原点と言えます。換言すれば家庭で培ったことが、お子様の育ちを左右すると言っても過言ではないでしょう。

育ちの根源となる「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣、人間関係(コミュニケーション)能力や自尊感情(自信)、また家庭学習の習慣などが、家族との愛情ある関わりによって培われ、健やかに育つための礎となります。

体や心だけでなく、学校での学びを充実させるためにも、家庭の在り方は重要な意味を持っているのです。

そのためにも「あやせゼロの日運動」をご理解いただき、ご家族との温かなふれあいを通して、大切なお子様をお育てください。



読書活動推進員と児童

整頓された天台小学校の図書室



お薦め本を展示

### 学校図書館の改善

読書活動は、子どもの情操や豊かな心を育むとともに、理解力、読解力を高め、確かな学力の向上に役立つものです。

市教育委員会では、読書活動の拠点となる学校図書館の活性化を図るために、天台小学校をモデル校として学校図書(読書活動推進員)を配置し、蔵書整理や環境整備を行っています。

今後は、同校での成果を踏まえ、市内小・中学校全校に、学校図書室の運営の中心となる学校司

読書活動は、子どもの情操や豊かな心を育むとともに、理解力、読解力を高め、確かな学力の向上に役立つものです。

市教育委員会では、読書活動の拠点となる学校図書館の活性化を図るために、天台小学校をモデル校として学校図書(読書活動推進員)を配置し、蔵書整理や環境整備を行っています。

今後は、同校での成果を踏まえ、市内小・中学校全校に、学校図書室の運営の中心となる学校司

書を順次配置していく計画です。

◎教育指導課 ☎70・5660

### ふだん家でする学習は？

小学生	中学校
学校の宿題 94.0	学校の宿題 74.1
テスト勉強 43.5	テスト勉強 66.1
調べ学習 29.6	調べ学習 45.8
授業の予習復習 33.9	授業の予習復習 32.0
学習塾の勉強 26.4	学習塾の勉強 19.0
受験勉強 5.6	受験勉強 9.7

(単位%)

### 学校が終わった後の過ごし方は？(学習以外で)

小学生	中学生
TVやVTRの視聴 67.9	TVやVTRの視聴 78.2
TV・PCゲーム等 64.0	音楽鑑賞 68.8
家の外での遊び 54.4	家での休養 67.9
家での休養 52.5	友と携帯などでメール 60.7
スポーツ 46.6	マンガなどの読書 53.3
マンガなどの読書 45.7	インターネット 51.9
音楽鑑賞 34.7	TV・PCゲーム等 51.3
インターネット 31.4	スポーツ 40.8
友と携帯などでメール 18.4	家の外での遊び 27.2

(単位%)

### 25年度教育基本調査

市教育委員会では、平成10年度から5年おきに、本市の小学校4年生以上とその保護者を対象に、生活実態や教育に関する意識などの教育基本調査を実施しています。

25年度の調査結果から、普段の家庭学習の内容は、小学生は学校の宿題が中心で、中学生は学校の宿題に加えて、テストのための勉強が多くなっていました。

授業の予習・復習については、小・中学生ともに3割程度にとどまっています。

学校が終わった後の学習以外の過ごし方は、小・中学生ともテレビやビデオを見て過ごすことが最も多く、次に多かったのは、小学生ではゲームをする、中学生では音楽鑑賞でした。

スマートフォンを含め、携帯電話などでメールをしている割合は、小学生は低いものの、中学生では多くなっています。

◎教育研究所 ☎70・5659

### 4年生以上の生活習慣

学校が終わった後の学習以外の過ごし方は、小・中学生ともテレビやビデオを見て過ごすことが最も多く、次に多かったのは、小学生ではゲームをする、中学生では音楽鑑賞でした。

スマートフォンを含め、携帯電話などでメールをしている割合は、小学生は低いものの、中学生では多くなっています。

◎教育研究所 ☎70・5659